

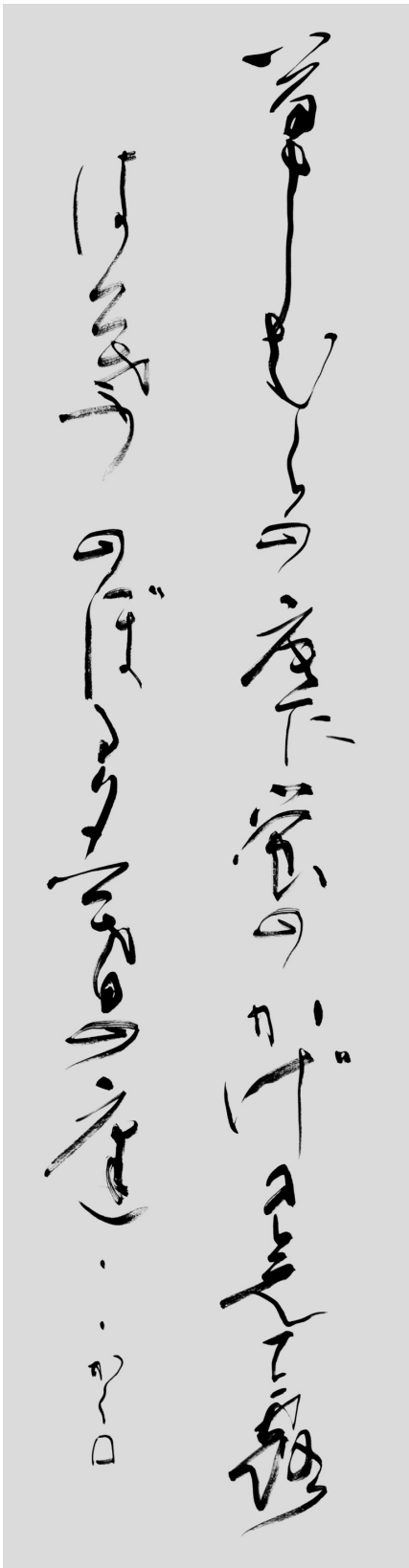
6月25日正午必着

明石春浦先生書



處せい靜じん脩しゆ閑かん (黃子久) 靜を愛し閑を好む。

明石幸子書



草むらの底に螢のかけ見えて 露は葉のぼる夕暮の庭 (松平定信)

雨宮春聲先生書

相送臨高臺川原杳何極
日暮飛鳥還行人去不息

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

夏雲多奇峯 (陶淵明)

夏雲奇峯多し

夏雲が種々変った峰の形をなして湧く。

獨坐幽篁裏 彈琴復長嘯
深林人不知 明月來相照 (王維)

獨り幽篁の裏に坐し 琴を弾じ復た長嘯す
深林人知らず 明月来たりて相照らす

誰もたずねて来ない竹やぶの奥の離れで、
気ままに爪びいたり歌ったりするのは楽し
い。相手になつてくれるのはお月さまだけ。

送王牧往吉州調中史君叔上(李嘉祐)

王牧が吉州に往いて史君叔に調するを送る 李嘉祐

細草綠汀洲 王孫耐薄游
年華初冠帶 文彩舊弓裘
野渡花爭發 春塘水亂流
史君憐小阮 應念倚門愁

細草 汀洲に緑に 王孫 耐く薄遊す
年華 初めて冠帯し 文彩 旧と弓裘
野渡 花争つて発き 春塘 水乱れつつ流る
史君 小阮を憐れむも 応に倚門の愁いを念うべし

庭若葉輝きあひて 晝深し身はすこやかに 夏に入るなり (松田 常憲)

半紙部規定課題A

6月25日正午必着

道相
在逢
惟

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

6月25日正午必着

行書

相逢惟道在

隸書

相逢惟道在

明石春浦先生書

お逢いし道と

相逢惟道在

草書

行草書

お逢いしても何のもてなしもできず、ただともに道を語り合うだけ、貧乏なことは誰でも周知のこと
帰り行く道すじに、降り残る雨は分たれて 舟をとどめ、親しき友に別れをつける
松木立の茂る山上の夜明け、霜が明るくかがやき 竹やぶの中の住居は春となり、花のしげみは暗い
私もかねがね隠遁したいとは思っているのだが いつになったら、君の住む山中に身を寄せることができるのだろう

送人歸山

石召

相逢惟道在

誰不共知貧

歸路分殘雨

停舟別故人

霜明松嶺曉

花暗竹房春

亦有棲閑意

何年可寄身

人の山に帰るを送る

石召

相逢うて 惟だ道のみ在り

誰か共に貧なることを知らざらん

帰路 残雨を分かち

舟を停めて 故人に別る

霜は明らかなり 松嶺の曉

花は暗し 竹房の春

亦有棲閑の意有り

何れの年か 身を寄す可き

(出典)
朝日新聞社刊
「三体詩」下より



浮生は何をか恃まん、と。

雨宮春聲先生臨書



(嗑粒) 絶漿。殆乎滅性。成人

之德。見稱州里。免喪

之後。乃發弘誓。而以

風樹不停。浮生何恃。

思去髮膚之愛。將酬(凶極之恩)

(嗑粒) 絶漿して、殆ど性を滅し、成人の

徳は、州里に称せられ、喪を免るるの後、

乃ち弘誓を發す。而して以えらく。風樹は

停まらず、浮生は何をか恃まん、と。髮膚の

愛を去らんとし、將に(凶極の恩に)酬

いんとし、

唐 歐陽通・道因法師碑

歐陽通(生年不詳―六九一)は潭州臨湘(河南省)の生まれで、字は通師。儀鳳四年(六七九)に中書舍人に任命され、出世を重ねて、唐の重臣として仕えたが、皇太子の指名問題で苦言を呈し、謀殺されたと言われている。

彼は初唐の三大家と称される歐陽詢の第四子として生まれた。幼い時に死別しており、父の手ほどきをあまり受けられなかったようである。しかし、母から父の書法を学んだり、市場に回った父の書を買いあさったりして一心に歐書を研究、精進したと言われている。そして、後には父は大歐陽、彼は小歐陽と呼ばれ並び称せらるるほどになったと言う。

現存する彼の書碑は、泉男生墓誌銘とこの道因法師碑である。高さ約3メートル、幅約1.2メートルの巨石で34行、毎行73字から成る。楷法の極則と言われる九成宮醴泉銘などの歐法をしっかり受け継ぎながら、北魏風の書法を取り入れた力強い起筆や終筆、処々に見られる隸書的な跳ね上げなど独自に研鑽を重ねたとされる書風に注目したい。

(春濤)

6月25日正午必着

而以風樹不停浮生何
恃思去髮膚之愛

而して以えらく 風樹は停まらず、浮生は何をか待まん、と。髮膚の愛を去らんとし、

△做書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

間中覓伴書為上身
外無求睡最安

間中覓伴書為上身

身外無求睡最安

(劍掃)

伴は仲間、友。閑寂な境地で相手をさがすとならば書物が一番、この身一つ何も欲しいものなく、睡眠が最も安らかである。

6月25日正午必着

教育部毛筆

ふく しょう
服 飾

中学一年

雨宮春聲先生書

い りょう
医 療

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



しん

よう

小学五年

榎戸春龍先生書



うた

こえ

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

6月25日正午必着



ゆみ

や

小学三年

藤田幸春先生書



じょ

そう

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

こ い 小学一年・幼年



森戸春濤書

小 石 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

わたし以外は知らない
いひみつの場所です

小学五年

多くの本を読んで
教養を身につける

小学六年

喜びに向かう思想は健
康にも向くものである

中学

故郷からの便りにすばい昔
が恋うかしく思い出されます

一般(級位)

たえだえに影をば見せてあすか井のみま草がくれ飛ぶ螢かな(鎌倉宮)

たえだえに影をば見せてあすか
井のみま草がくれ飛ぶ螢かな

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

に	か
	え
と	る
び	が
こ	
ん	い
だ	け

幼年

ケ	た
ー	ん
キ	じ
を	よ
か	う
う	日
	に

小学一年

う	麦
こ	茶
で	を
ひ	
や	れ
す	い
	ぞ

小学二年

ね	ゆ
ん	う
切	び
手	ん
を	局
か	で
う	き

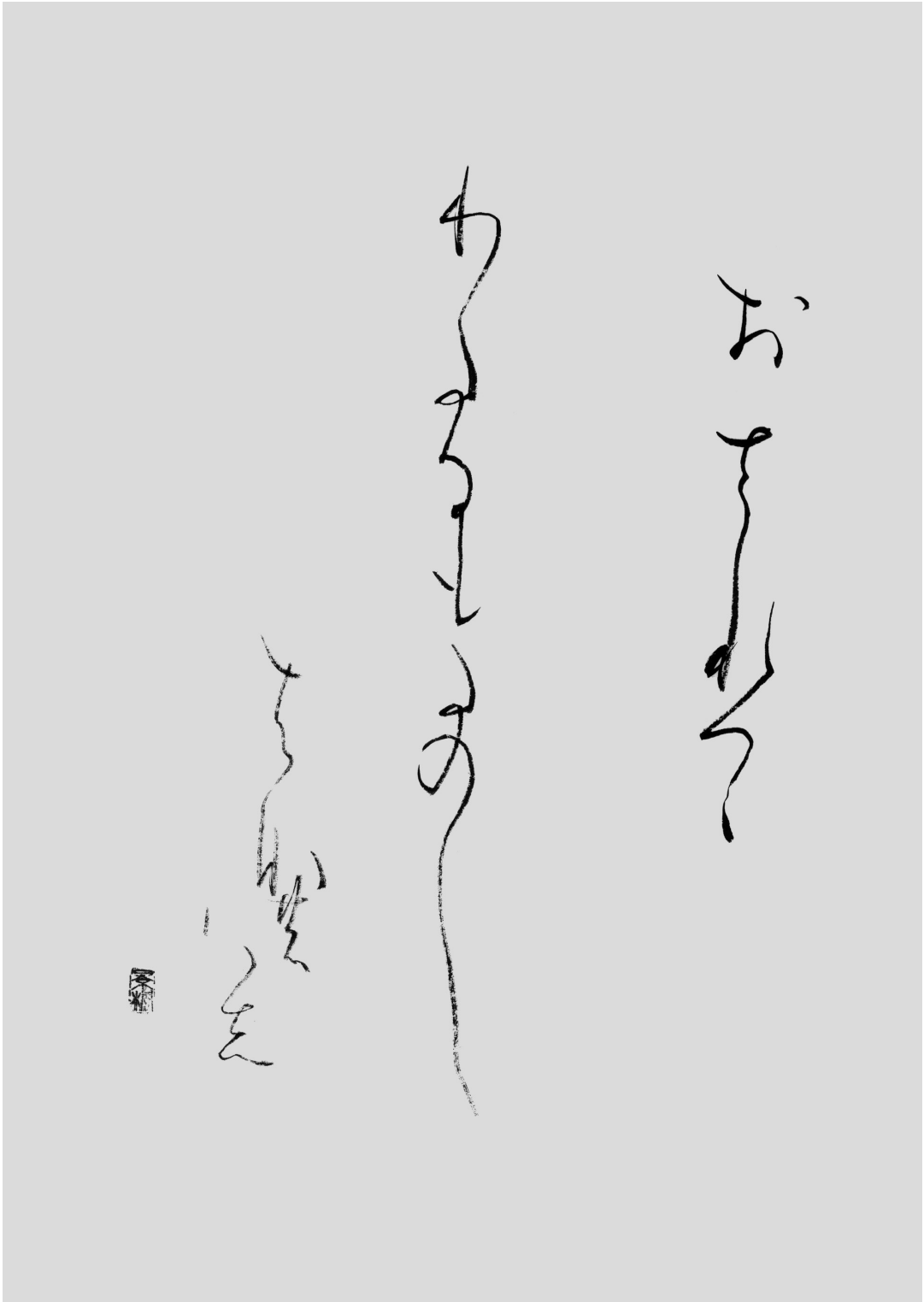
小学三年

読	こ
め	の
ば	本
は	は
お	最
も	後
し	ま
ろ	で
い	ま
	で

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

おされつゝわたるもたのし
多毛多
はなのはし
者那農八志
(増田手古奈)